

下鴨少年補導委員会
松ヶ崎支部

発行責任者
支部長 北川 憲一

松ヶ崎少年補導だより

人とのかわりを大切にして

京都市立松ヶ崎小学校教頭

北川 知世

松ヶ崎小学校に赴任が決まった時、近所で親しくさせていただいていたおばちゃんのことを思い出しました。「みやげちゃんのおばちゃん」です。幼い頃、母に叱られた時、いつも決まって行く所は、みやげちゃんのおばちゃんの家。私が泣いて入っていくと、

「また、お母ちゃんに叱られたんか。そんなお母ちゃんはほかにしてしまい。大丸で、ええお母ちゃん（マネキン？）こうやる。」

と言つて、慰めてくれるのです。春には「菜の花漬け」、夏には、水いっぱいの「レモン水」。お腹もふくれて、気持ちも落ち着いて。私にとつては第二の母（祖母？）のようでした。ですから、母も安心して私を叱れたのだと思います。もちろん、しばらくすると、母が迎えに来ます。そして、また家に帰っていく。それが日課でした。

私が生まれたのは、昭和三十年代。家の前は舗装道路ではなく、砂利道でした。コンビニエンスストアもないし、自動販売機もない。もちろん携帯電話もない。けれど、ご近所づきあいは盛んでした。

学校から帰ると、近所のお姉ちゃんによく遊びました。そして、その遊びを通して、社会のルールや約束を教わったように思います。近所のおじさん、おばさんは、ちよつとこわくて、悪いことをすると（私はあまりしていませんが）、よく叱られました。物を買う時にも、今のようなスーパーマーケットはありませんでしたから、きちんと会話をしながら買物します。

「こんにちは、〇〇ください。」
「はい、〇円です。」
「はい。」（お金を出す。）
「おつり、〇円ね。落とさんと持って帰ってね。もう夏休みか？宿題ようさんあるの？」

「夏のドリルと、……。」
このように、一つ物を買うにも、たくさん会話をします。こうして（人とかかわって）、自然とマナーや礼儀、コミュニケーション力を身につけていったように思います。さて、「江戸しぐさ」というのをご存知ですか。「江戸しぐさ」とは、江戸の生活哲学。みんなが気持ちよく暮らすための思いやりやマナーのことです。一部紹介し

ます。
「傘かしげ」
狭い道や歩道などで、すれちがう相手に、傘のしずくがかからないように、相手と反対側に自分のさしている傘を少し傾けること。こうして通れば、傘同士がぶつかることもなくスムーズに行きかうことができます。
「うかつあやまり」
他人の足を踏んでしまったら謝るのは当然です。けれども、江戸しぐさでは、踏んだ人はもちろんのこと、踏まれた人も謝ります。人が通る場所、立ちそうな所に足をだしている方がうかつだったという気持ちをこめて謝るのです。これは、「こちらこそ、うっかりいたしました。」というお詫びのしぐさ。相手への気遣いにあふれた江戸しぐさの代表格です。
このような気持ちのよい行動は、人と人とのかわりの中で身についていきます。もちろん、そのような行動ができる大人が手本となり、子どもたちに示していかなくてはなりません。

最近、規範意識の低下が叫ばれています。たしかに、町を歩けば不愉快な思いをすることが多々あります。ぶつかっても謝らなかつたり、道を塞いで歩いたり…。お互いがお互いを思いやり、気持ちのよい行動ができるようにしたいものです。

平成二十五年度学校教育の重点

「松ヶ崎小学校に赴任できてよかったね。ちーちゃん。」
と。また私も、ここでのかわりを大切に、子どもたちといっしょに学んでいきます。どうぞよろしくお願ひ致します。

においても、「豊かな心」の育成の一つに「規範意識の育成」が挙げられています。そして、本校の学校経営方針にも、生徒指導の充実として掲げています。
まずは、大人、指導者自身が、人とのかわりを大切にし、きちんとした規範意識を身につけていけるように、普段の生活を振り返る必要があるでしょう。
私がここに赴任したのは、きつとみやげちゃんのおばちゃんのお導きかも…。菜の花畑に行つたとき、高台のお墓からおばちゃんの声が聞こえてきました。



正田町 S.S. さん

さしのべる 手のぬくもりを どの子にも

広げよう地域防災と地域の輪

松ヶ崎学区自主防災連合会 会長 中島 熙 泰

平素は自主防災連合会に対し、ご協力、ご支援賜り有り難く厚く感謝申し上げます。

自主防災連合会は、住民の隣保共同の精神に基づく自主的な防災活動を行うことにより、災害による被害の拡大を未然に防止し、又は被害を軽減することを目的とした団体です。

今年の左京区総合防災訓練が十月十四日(祝日)に松ヶ崎小学校で実施される事になりました。

従来にはない住民参加型の新しい防災訓練の手法として、楽しみながらしっかりと学べる「イザ！カエルキャラバン」の名称で多くのファミリーが参加し、楽しい防災訓練が体験して頂けるように考えてあります。

個々の訓練がゲーム感覚になっていますので、親子揃って楽しめそうです。

項目が沢山ありますので、各種団体にお手伝いの協力をお願いします。

松ヶ崎学区民を主体に、他の学

区の方々も多数参加される予定で

新しい試みなので区役所は当然、他の学区も関心を持って期待されています。

この機会にファミリーで参加して、楽しくひと時を過ごしながらか訓練を体験し、会場を皆さんで盛り上げて下さい。

災害時には自分の身体は自分で守り、周りの人の救助を心がけて、避難所へ無事に避難し、公的援助を待つ基本動作が、平常心で行えるように訓練に参加し養って頂ければと願っています。

これからの高齢化社会に対して、地域コミュニティの活性化が大切になって来ます。

子どもやお年寄りの見守り、災害時の助け合いなど、暮らしの中の「不安」を「安心」に変える人と人とのつながりが、地域コミュニティと言われています。

自主防災連合会では避難所運営マニュアルの作成に今後取組む予定ですが、マニュアル作成にあたっては、運営するための役割分担やルールを

決めておき、住民相互で情報を共有していくことが必要です。

避難行動、避難運営には、日頃から顔見知りの町内単位での行動が最善になります。

いざという時、自ら行動できるように、日頃から地域コミュニティの再生・活性化に関心を持ち、取り組む必要があります。

地域力による自助・共助の必要性が求められている現在、自主防災連合会では町内単位での訓練方法を模索しながら、活性化に向けての取組を皆様と一緒に考えていきたいと思っています。

今後共にご協力よろしくお願い申し上げます。

平成二十五年度

非行防止標語

優秀作品

支部長賞

「二人じゃないよ」

勇気の一言 みんなが仲間
六―二 たかくら ゆいこ

小学校長賞

泣かないで

ぼくがとなりに いてあげる
四―二 さかい りょうた

窓

「松ヶ崎に暮らして」

六ノ坪町

藤岡 敦子

私は、十数年前に他府県からこの松ヶ崎に引っ越ししてきました。妙法の山のたもとに位置するこの歴史ある地に住んでみて感じたことは、昔からの人と新しい人が折り合いよく暮らしていることがまず何よりも先にあげられます。

自転車で北山通りを走れば、西の北山から松ヶ崎を通り抜け、東の修学院に至るまで、おしゃれなお店が立ち並び目を楽しませてくれます。一方、一筋道を南北に入れば、のんびりした田園風景がまだあちこちに残っており、耕運機がコトコト道の真ん中を歩いています。

京都の伝統文化が染み込むこの地で暮らし始めるのは、初めはとも不安でしたが、恵まれた環境、温かい人々に囲まれて今や離れたたい拠点となっております。

みんな

なかよし 心がつながる
三―二 西はま 花りん

なりたいな

人の気もちが 分かる人
三―一 池 中 日葉子

手をつなごう

せかいじゅうの 友だちと
二―二 中 田 有 甫

自分から

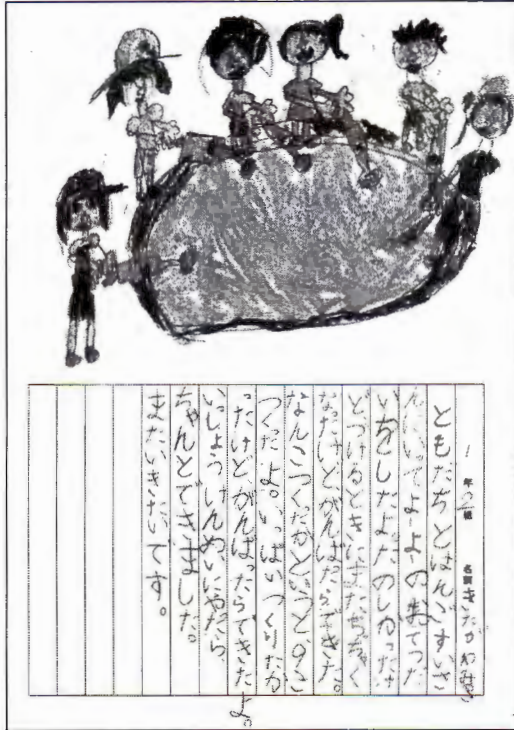
はじめていこう 正しい行動

五―二 山 中 結来花

世界の人々 命や心

重さはいっしょ みんなといっしょ
四―一 谷 口 智 美

だいじなともだち
なかよくしよう いつまでも
一―一 しっち ゆずき



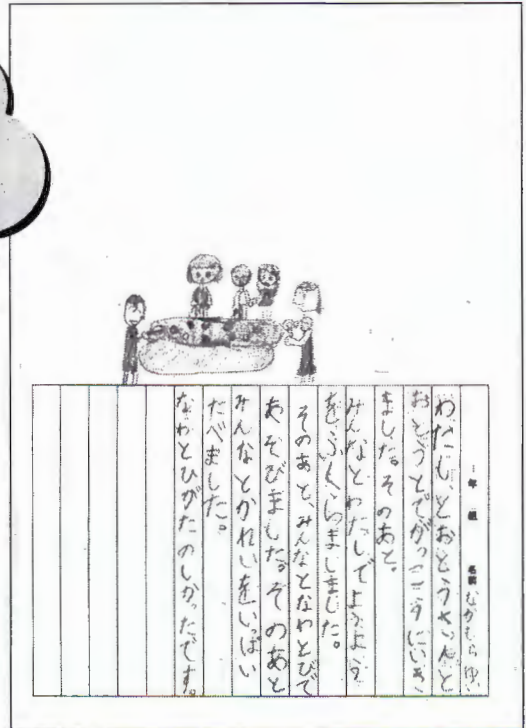
松ヶ崎小学校 1年2組 きたがわみやこ



松ヶ崎小学校 1年2組 くりすたるみみ



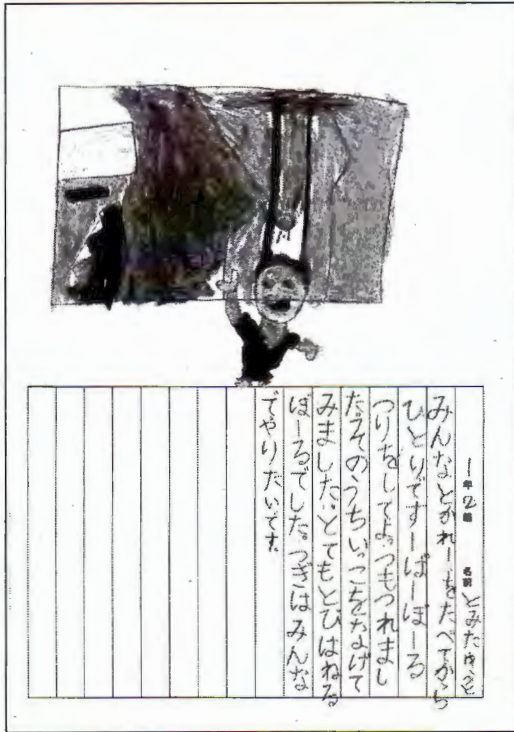
7月20日
 飯ごう炊さん



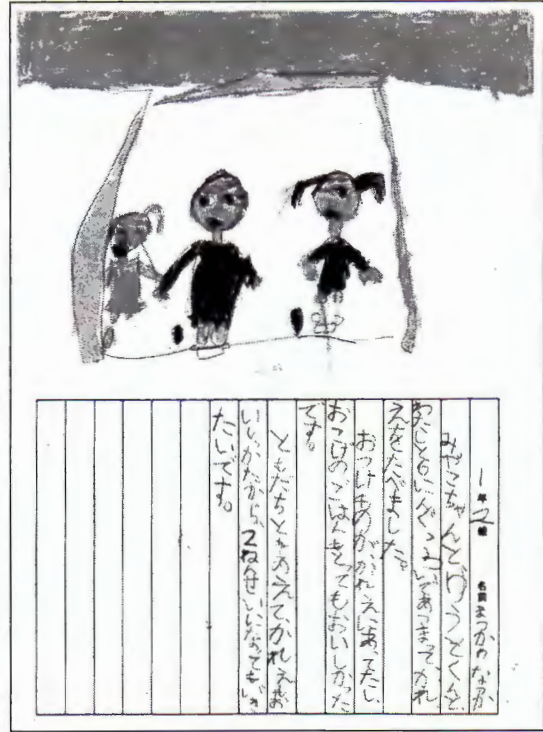
松ヶ崎小学校 1年2組 なかむらゆい



第28回子供フェスティバルのお知らせ
 本年も11月3日（文化の日）に実施します。多数の
 ご来場をお待ちしています。



松ヶ崎小学校 1年2組 とみたゆうと



松ヶ崎小学校 1年2組 まつかわなつか

支部活動 状況報告

前号に引き続き、当支部のその後の活動状況につき、ご報告いたします。

- 1 四月二日 松ヶ崎少年補導だより第五十六号を発刊し、三〇〇部を印刷、市政協力委員さん、隣組長さん方のご協力により、全世帯、関係機関に配布いたしました。
- 2 四月三十日 支部三役会
平成二十五年度当支部の総会の議案、実施日時、年間行事等について協議いたしました。
- 3 五月九日 支部定期総会
平成二十四年度決算、監査報告、事業報告、平成二十五年度予算案、事業計画案について審議し、満場一致にて決定。
- 4 六月四日 支部役員会
少年を明るく育てる京都市大会、社会を明るくする運動地域集会、飯ごう炊さんの打ち合わせを行いました。
- 5 六月二十四日 支部役員会
七月に実施予定の行事の分担、飯ごう炊さんとヨーヨーつりの会について、実施日時、参加人数の推定、材料等の調達の見込みについて協議いたしました。
- 6 七月七日 第三十五回少年を明るく育てる京都市大会



- 7 七月十三日 第六十三回社会を明るくする運動地域集会保護司会など関係各団体と共催。元京都市立学校栄養教諭の和泉正美先生の「子供によりそい、食べる力、生きる力を」と題する講演を拝聴いたしました。
- 8 七月二十日 飯ごう炊さんとヨーヨーつりの会
キッズ・スタッフとして各コーナーで児童にお手伝いして頂き、楽しい一日となりました。
- 9 七月二十日 いじめ、非行防止標語選考会
松ヶ崎小学校の先生方のご協力により、全校生徒から応募のあった標語の中から、優秀作品十作品を選びました。
- 10 八月三十一日 松ヶ崎自治連合会主催の「夏まつり」
台風のため中止となりました。
- 11 九月七日 京都府少年補導連絡協議会 研修会
京都リサーチパーク バズホールで行われ二名参加しました。
- 12 九月十四日 松ヶ崎少年補導だより第五十七号編集会議
原稿の作成、寄稿原稿の点検、紙面の構成、配置などの作業を行いました。
- 13 九月十五日 松ヶ崎児童館親子まつりのお手伝いをしました。
- 14 九月二十六日 松ヶ崎少年補導だより第五十七号編集委員会
文字の校正や誌面のレイアウトにつき、手直しいたしました。



その他、青色回転灯装着車によるパトロールを随時実施しております。
また、古紙回収を毎月第四金曜日に行っています。皆様のご協力に感謝いたします。
以上ご報告申し上げます。
支部長 北川 憲一